

発行:医療法人社団 神鋼会 神鋼病院
〒651-0072 神戸市中央区臨浜町1丁目4-47 電話:078-261-6711(代表) FAX:078-261-6726
発行責任者:病院長 山本正之 編集責任者:神鋼病院広報委員会 委員長 山神和彦

神鋼病院における がん診療体制について

ご挨拶

院長 山本 正之

本年4月1日より神鋼病院では院内運営委員会の一つとして、「がん診療体制支援委員会」を立ちあげました。小柴孝友先生には委員長として「がん診療体制統括部長」への就任をお願いしましたところ、快くお引き受けいただきました。先生はすでに長年「緩和ケア委員会」「NST委員会」の委員長として、がん患者さんの診療について側面からサポートしていただき、患者さんから強い信頼を受けておられます。下表に昨年1年間の神鋼病院における患者さんの内訳を示しております。全退院患者さんに占めるがん患者さんの割合は31%に達し、それぞれの臓器別の専門科で診察治療が行われております。私どもはこれらの患者さんにそれぞれのがんの特性と進行程度に対応して、より高度で、密度の高い治療をうけていただけることを目指しております。がん診療体系が多岐にわたるようになって来た今日、神鋼病院の所有する治療能力をいっそう充実させるとともに、当「がん診療体制支援委員会」が効率のよい、やさしい治療を目指して、がん集学的治療において重要な役割を果たすものとして期待しております。

【2008年患者内訳】

| | 患者数 | 割合 |
|----------------|--------|------------|
| 年間退院患者数(2008年) | 6,748人 | 100.0% |
| がん患者数 | 2,091人 | 31.0% |
| 治療内容 | 手術 | 809人 12.0% |
| | 化学療法 | 959人 14.2% |
| | 放射線治療 | 60人 0.9% |

がん診療体制統括部長 小柴 孝友

このたび「がん診療体制支援委員会」を立ち上げるにあたり、がん診療体制統括部長に就任いたしました。

当院におけるがん治療の柱は、手術療法、化学療法、放射線療法です。近年それぞれの治療を担う専門家が連携して集学的治療が行われることが多くなってきております。また、こうした治療をスムーズかつ有効に行っていくには治療を側面からサポートする部門の存在が不可欠です。それががんサーベランス委員会、緩和ケア委員会、NST委員会、クリニカルパス委員会といった部門です。手術療法を除きこれらの部門を統括し運営していくのが当委員会でありま。以下に各部門を紹介します。

■ がん治療の柱となる委員会

□ 化学療法委員会

当院は本年4月よりDPC体制に移行しました。その関係上、従来入院で行っていた点滴による化学療法も徐々に外来での化学療法へと移行して行っています。そのため、外来で化学療法を受けられる方が増えてきております。現在、

外来化学療法は外来化学療法センターに集約され、その役割はますます大きくなってきております。そのような中でセンター長の草間俊行先生を中心により快適かつ安全に治療が行えるよう努めております。

□ 放射線治療委員会

放射線治療は、根治的治療から緩和治療まで多岐にわたりここ数年症例は増加しています。高度な治療を安全に行うことはもちろんのこと、藤代 早月先生(放射線治療科長)を中心にスタッフ全員が患者さんやその御家族の病気、生活、放射線治療に対する不安が軽くなるように努めております。



こしば たかとも
小柴 孝友

神鋼病院消化管外科
がん診療体制統括部長
日本外科学会認定医
日本消化器外科学会認定医

■ 癌治療を側面からサポートする委員会



□ がん登録・サポーランス委員会

前述の治療効果を客観的に評価し、これを治療にフィードバックさせ、より適切な治療を目指していく為の部門です。具体的には院内でがん患者さんについてがん登録を行い経過フォローし、5年生存率等の具体的な数値で治療成績を出していきます。公表された他病院の成績と比較することで、治療成績を評価していくものです。本年4月より新たに構成された部門で、結縁 敬治先生（泌尿器科長）を中心に活動を行っています。

□ NST委員会 (栄養サポートチーム)

がん患者さんは治療に当たり、手術、化学療法、放射線治療等を受けられますが、いずれの治療も副作用や合併症を伴います。特に食欲低下による栄養状態の悪化は、免疫力低下を招き場合によっては治療を断念せざるを得なくなる場合もあります。NSTではがん患者さんの栄養状態を身長、体重、血液検査などから評価し、不足分を食材や適切な栄養剤で補給し癌治療を側面からサポートしております。特に、入院化学療法を受けられている患者さんは味覚が鈍ることが多い為、化学療法食として焼きそばなどの比較的味が濃い食材を提供し好評を得ております。

□ 緩和ケア委員会

がん患者さんの疼痛管理、メンタル面のケア、がんに関連したその他の身体症状のケアを行っています。従来、緩和ケアはもう治療の施しようのない末期がんの方が対象のように思われがちですが、本来緩和ケアは癌治療が始まった時から必要に応じて行うべきもので、WHOもこのように提唱しています。がん患者さんに安心して治療を受けていただく為にも、がん治療中から積極的に緩和ケアが介入

できよう考えております。幸い、本年4月より緩和ケア認定看護師の澁谷 裕子さんが当院に着任し、今まで以上にきめ細かなケアが可能となりました。

□ クリニカルパス委員会

クリニカルパス（以下パス）は治療や検査の日程を詳しく書いた日程表のようなものです。入院から退院までの過程が書かれており、いつ頃どんな処置があり、食事がいつから始まるかなど具体的内容が書かれております。治療もこれに従って進められていきますので主治医が異なっても、同様の治療が受けられることとなります。各がん治療に対してパスを作成することは、標準化された治療が安全かつ安心して受けられるものと考えており、今後もパスの充実を目指していく予定です。

■ 最後に

このようにがん治療には多くの部門が関わっておりこれらの部門がうまく機能することが、がん患者さんが安心して高度ながん治療を受けていただけるものと考えております。今後がん診療関連部門を充実させ、がん患者さんに安心して満足度の高い診療を提供していけるよう努力していく所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

神鋼病院 救急科 病診連携講演会

春暖の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、神鋼病院救急科病診連携講演会を右記の要領にて開催いたします。今回は、日本赤十字社和歌山医療センター救急部部長千代孝夫先生をお招きし、ご講演を賜りたいと考えております。ご多忙中とは存じますが、ご出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

日時：平成21年6月5日（金）18:00～
場所：神鋼病院3階「講堂」

座長 神鋼病院副院長 鈴木 雄二郎

「各種の外傷患者への対応」

日本赤十字社和歌山医療センター救急部
部長 千代 孝夫先生

*日本医師会生涯教育講座5単位に認定します。

出張講演会の御案内

神鋼病院乳腺科では出張講演会をご依頼により行っています。

■ 講演内容

- ①乳がん早期発見を目的とした啓発のための一般の方対象の講演会
- ②乳がんの診断・治療に関する新しい知見を盛り込んだ
医療関係者対象のやや専門的な講演会

■ 申込先

神鋼病院地域医療連携室 TEL : 078-261-6739(直通)

※なお、本院に於いて以下の科も出張講演が可能です。
呼吸器内科、呼吸器外科。

乳がんは、今や日本人女性の20名に1人に発生し、女性のがんで最も罹患率の高いがんであり、ますます増加の一途をたどると予測されています。早期発見のための啓発運動として、日本乳がんピンクリボン運動が知られています。神戸市にてピンクリボンフェスティバルが毎年開催されるにもかかわらず、兵庫県の乳がん検診率はかなり低い状況です('06年5.3%、7-スト2)。ピンクリボン運動のオフィシャルサポーターである本科としては、一般の方に対する啓発活動は重要であると痛感しています。従来から区民健康セミナー、企業内の集会等で講演を行ってきました。これからはさらに積極的に展開していく予定です。また、医療関係者の方には我々の経験(乳がん手術症例650例('05~'08年の4年間))に斬新な話題を盛り込み、興味深い講演ができると考えています。お気軽に声を掛けて頂ければ幸いです。

神鋼病院乳腺センター長 乳腺科長 山神 和彦

リウマチ膠原病内科を開設いたしました

初夏の候、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度4月より新たに"リウマチ膠原病内科"として外来診療を開始いたしました。まずは木曜日みの外来ではありますが、よろしくお願ひ申し上げます。

対象疾患と致しましては、膠原病やリウマチ性疾患と呼ばれる疾患の外来診療を行って参ります。古典的な膠原病(全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎、関節リウマチ、結節性多発動脈炎)に加えて、膠原病類縁疾患(ベーチェット病、シェーグレン症候群、混合性結合組織病、ウェジェナー肉芽腫症、アレルギー性肉芽腫性血管炎など)を主な対象疾患としております。治療は、疾患の重症度や臓器病変の程度などを勘案して、最善と思われる方法を選択します。治療薬には、消炎剤、ステロイド剤、抗リウマチ薬、免疫抑制剤などを使用しており

ます。また近年では炎症性サイトカインを特異的に抑制する生物学的製剤による治療も行っております。

膠原病及び類縁疾患は全身性の症状を呈することが多々あり、内科系診療科のみならず外科系診療科も含め院内各科と協力し診療を行います。加えてより特殊な検査・治療が必要な場合には神戸大学"免疫・感染内科学講座"と共同で診断・治療を行います。

なお、関節リウマチに関しましては当院ではこれまで整形外科が診療をしており、今後も引き続き整形外科(リウマチ外来)で診療を行います。関節外症状の合併等必要な場合には内科的にも共同で診療を行って参ります。リウマチ膠原病診療を通じて、当院の理念でもあります地域医療に対して微力ながらも貢献して参ります。当該疾患で専門的な診断・治療が必要な場合にはご紹介頂ければ連携して診療に当たらせて頂きます。今後ともよろしくお願ひいたします。



Profiel

こがた よしのり
古形 芳則

日本リウマチ学会専門医
日本内科学会認定医
日本救急医学会専門医

■ リウマチ膠原病内科

診察日時

毎週木曜日

午前9時~11時30分